



＊ ＊ 謹 賀 新 年 ＊ ＊

更生保護法人秋田県更生保護援護協会
理事長 小 畑 悟
更生保護法人秋田至仁会
理事長 平 澤 健 治
秋田県保護司会連合会
会 長 宮 原 文 彌
秋田県更生保護女性連盟
会 長 太 田 宥 子

N P O 法人秋田県就労支援事業者機構
会 長 小 畑 悟
秋田県 B B S 連盟
会 長 菅 原 大
秋田保護観察所
所 長 小 玉 勝 康

秋田更生保護

第 65 号
発行所

秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援護協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

平成29年1月1日現在
保護司数 663名



心をひとつに東北

日本更生保護女性連盟 常務委員
秋田県更生保護女性連盟会長

太 田 宥 子

平成二十八年は、地震、津波、噴火、また、東京での十一月の初雪など、想定外の気象状況で多くの方が被災された一年でした。

一方、リオデジャネイロオリンピックでは、メダル獲得数四十一個、世界六位の快挙を上げ、希望の輪は次回開催地東京へとバトンタッチされました。

そして、平成二十九年、未来を見据えて今、新たな年の幕が開かれました。

さて、日本更生保護女性連盟では、「子育て支援」、「地域との連携・協働活動推進」を大きな二本柱として推し進めています。

日頃、多数の関係諸団体からご支援ご協力を頂き県連盟および県内各地区会が活動できます事に、改めて感謝致し、厚く御礼申し上げます。

平成二十七年十一月六日県連盟は、設立五十周年を迎え、記念式典、祝賀会を秋田保護観察所、関連団体、および会員多数の参席で開催いたしました。

諸先輩が築き上げた更生活動の道を半世紀に及ぶ年月、沢山の人の支え合いと絆で歴史を重ね、あゆみ

続けている事に感慨の念を抱きます。

日本更生保護女性連盟、南は沖縄、北は北海道まで、十七万二千人程、そして秋田県は、千九百人の会員が健全な社会づくりを目指し活動が続けております。全国八ブロックに分かれ、秋田は東北地区六県の一つです。

平成二十六年から、秋田県で連盟設立以来初の東北地方更生保護女性連盟会長の重責を担い、全国常務委員として東北会員との懸け橋に努めているところです。

東北地方は、観測史上最大の東日本大震災に見舞われ多くの会員が命を奪われました。同時に両親を失った子どもたちもいます。そこで、見守り続ける気持ちを伝えるため、県連盟では、震災孤児育英基金を立ち上げ、大震災の翌年三月から毎年、宮城、岩手、福島の前被災地三県へ「こころざし募金」として届けています。各県では「学び希望基金」「こども寄付金」などとしてお役立ていただいております。前向きに、希望を叶え進む子どもたちからの礼状を励みとし、ささやかでも更生の心で、支援を継続して参ります。

更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

十月十三日秋田至仁会において当協会の研修会が開催され、理事・監事の方々の出席のもと、秋田至仁会施設内見学と秩父施設長による概況説明等の御講話をいただき、有意義な研修会となりました。

当協会運営に対しまして御寄附を戴きました皆様、また普通会員・賛助会員の方々にはこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

篤志者寄附金の御芳名

平成二十八年七月以降に御寄附を寄せられた方は、次のとおりとなっております。厚くお礼申し上げます。

一金 二十万円

櫻田 元宏様 佐藤 吉寛様

一金 五万円

伊藤 容一郎様 宮原 文彌様

一金 一万円

藤原 徳義様



秋田県保護司会連合会

★第二回理事會

- 平成二十八年九月十三日
- 秋田保護観察所
- 主な協議事項
- 第四十九回秋田県更生保護大会開催について

★第四十九回秋田県更生保護大会

- 平成二十八年十一月十六日
- 秋田市文化会館大ホール
- 内容 別掲

★地区保護司会長等連絡協議會

- 平成二十八年十一月二十一日
- 秋田市「ユフォーレ」
- 地区会長 地区事務局
- 県保連理事等
- 協議事項
- 社明モデル地区・ブロック別更生保護研究会結果報告
- 地域推進事業結果報告等

★東北管内保護司会長・事務局長會議

- 平成二十八年十二月八・九日
- 宮城県仙台市
- 県保連二名が出席
- 主な内容・協議事項
- 各県の活動状況について等

大曲地区サポートセンター開設

「更生保護サポートセンター」の

新規開設について

佐々木 宮廣

犯罪や非行した人の立ち直り支援や面接・相談等の対応するサポートセンターの設置を、保護観察所からの依頼に、会長役員が各機関と交渉し、旧神岡町福祉センター内の一部広々とした施設を借りることができた。

開所式が十月五日来賓多数参加の下、保護司も列席し盛大に行なわれた。いよいよ種々の相談事業、面接場



大曲地区保護司会更生保護サポートセンター開所式(10月5日)

所、企画運営、協力雇用主の確保等の活動の場として現在、火・木・土の三日、企画調整保護司が交代で勤めている。

今後の活動課題として、サポセン活動の実態と地域に理解を得るための説明と連携、各機関との関わり方、研修の場としての活用・活動により発行なども考えられる。

【新設】(平成二十八年十月五日)

大曲地区更生保護サポートセンター

〒〇一九一七〇一

大仙市神宮寺蓮沼十七

大仙市社会福祉協議会神岡支所内

電話 〇一八七七八八四二五

FAX 〇一八七八八八四二六

センター長 佐々木宮廣

【移転】(平成二十八年十月三日)

潟上湖東地区更生保護サポートセンター

〒〇一八一五〇二

潟上市飯田川下蛇川八ッ口七〇

電話 〇一八八二七三三三〇



一筆啓上

保護司等中央研修会に参加して

法務大臣表彰受領の

榮譽を得て



本荘地区

保護司会長

佐藤 吉寛

八月の初め、秋田保護観察所から「平成二十八年度保護司等中央研修会」に研修員として出席するよう連絡がありました。翌日に今度は、私の法務大臣表彰受賞が決定したとの通知があり、思い掛けない榮譽にビックリしました。「それで私が秋田県への割当六名の研修員の一人として指名されたのだ」と気が付きました。そして、開催要領を見て、講演の後に式典があり、研修会と言っても、更生保護の全国大会であることを知りました。

更に、法務省保護局より「法務大臣表彰代表受領を依頼する」ついでには、「リハーサルをするので、式典当日（九月二十九日）十時五十分までに、会場の東京都千代田区大手町にある日経ホールに来るよう」指示がありました。当日の出発では時間に間に合わず、前

泊することになりました。

リハーサルには、①法務大臣表彰受領代表者（私）、②全国保護司連盟理事長表彰受領代表者、③全国更生保護法人連盟理事長表彰受領代表者、④保護司特別功労章受領代表者、⑤瀬戸山賞受賞者、⑥謝辞申述者、の数名が集合しました。

午後一時、全国から保護司、更生保護法人役職者、四百六十人が集まり開会し、埼玉県立精神医療センター・和田清部長の講演「薬物の乱用・依存・中毒の理解と薬物依存症者の回復支援」を拝聴しました。薬物の乱用（使用）・依存（繰り返し）・中毒（精神症）の違いを知ること。刑の一部の執行猶予制度の施行により、薬物依存者を保護観察対象者として担当することになる保護司に望まれることとして、①一人で抱え込まない。複数分野との連携を原則とする。②コントロールしようとしな

い。対決は絶対しない。③過大な期待はせず、長い目で回復を見守る。と教えられました。

講演の後に式典があり、最初に、法務大臣表彰受領代表者の私が名前を呼ばれ、ご来賓が居並ぶ壇上に進みました。残念なことに、金

田勝年法務大臣が国会答弁で欠席され、代理の盛山法務副大臣が賞状を授与し、メダルを首に掛けて下さいました。

全国の代表という生涯で一度しかないであろう晴れがましい榮譽に緊張しました。会場から暖かい拍手を戴き、この機会を与えて下さいました、法務省保護局、東北地方更生保護委員会、秋田保護観察所の皆様に、改めて心から感謝の意を申し上げます。



盛山法務副大臣からの贈呈

秋 田 至 仁 会

「福祉職員として」

福祉担当職員 佐藤 憲和

皆様新年明けましておめでとうございます。

平成二十一年福祉職員制度発足に伴い採用されたものの更生保護事業のことは全く分からず、上司や同僚の皆様にご迷惑をおかけしましたが、懇切丁寧なる指導を頂き、お陰様でどうにか福祉職員の業務を果たせるようになりました。

昨今の入所者の傾向は、特に高齢・傷病者の割合が多くなっております。昨年度は、実人員の二十一%十七名の医療・生活扶助として福祉へ繋いでおります。

本年度も益々その傾向が高まっております、全職員がその手続き等に忙殺されている現状です。

特に最近では高齢者の再犯率が極めて高くなっているとの報道のとおり、私どもの処遇の方向は明確なのです。入所から退所、退所後のフォローアップにより再犯を少なくする重要な処遇だと思います。

更生保護施設の維持運営が厳しい昨今、ボランティア精神だけでは処遇に限界があります。

そのためにも、フォローアップ業務の明確な定義・予算化、補導職員の増員等によるフォローアップ体制の制度化を心より願っているとこ

秋田県就労支援事業者機構

平素から当機構の活動に対し御理解と御支援をいただき、感謝申し上げます。

今年度の事業の状況につきまして御紹介いたします。

保護観察対象者等に対する身元保証制度の利用につきまして、十月末の時点で三名に対し支援を行っております。

トライアル雇用を行った事業主への助成につきましては、同雇用の事例がないことから現時点での活用実績はありません。

本年七月二十九日に秋田保護観察所で実施された就労支援セミナーにおいては、当機構の理事を講師として派遣し、保護観察対象者等の求職活動の援助を行いました。

本年九月十二日に秋田刑務所で実施された職業訓練見学会には県内の協力雇用主八名が参加し、同施設で実施している職業訓練の様子を見学したほか、雇用現場におけるニーズ等について関係機関との意見交換を行いました。

今後より多くの保護観察対象者等を就労へと導くため支援等を行ってまいりますので、引き続き当機構の活動に対し、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



秋田県更生保護女性連盟

★東北地方更生保護女性会員研修会

九月六日～七日、福島県福島市ホテル福島グリーンパレスにおいて東北地方更生保護女性連盟太田宥子会長のもと東北六県の会員百名が集い開催されました。秋田県より太田宥子会長、会員十名が参加しました。研修会の主題は「地域から、より頼られる更生保護女性会を目指して」第一分科会の副題「東日本大震災、原発事故からの復興途上における更女活動について」、第二分科会「女性の特性を生かし、会員一人ひとりの能力が発揮される地域活動について」意見発表を二ッ井地区齊藤正子会長が行いました。第三分科会「地域の課題の情報収集および他団体と効果的に連携した活動の実施について」、第四分科会「会員の意欲向上や識見を深めるための効果的な研さん活動について」、記録を秋田地区小松弘子会員、結果報告を西仙北地区渡部睦子会長が担当しました。それぞれの分科会において、熱心な討議が行われ、活発な意見が出されました。

★更生保護女性会員中央研修

十月二十五日～二十七日、東京アルカディア市ヶ谷私学会館にて開催され

ました。秋田県より小坂地区栗田博美会長、美郷地区斎藤百合子会長が、そして全国より百名の会員が参加しました。日本更生保護女性連盟、太田宥子常務委員が出席しました。

★秋田県更生保護女性連盟会員研修会

十一月四日、秋田ビューホテルにて県内各地区より一三二名の会員参加のもと開催されました。秋田保護観察所小玉勝康所長、本平利幸企画調整課長の御出席をいただきました。東北地方更生保護女性会員研修会の四分科会の報告、更生保護女性会員中央研修の報告、二十七年に実施した「地域との連携・協働活動推進地区活動状況」を男鹿地区吉田萬里子会長より報告をいただきました。

午後の研修会において講演を山田憲児氏（日本社会事業大学客員教授・全国就労支援事業者機構事務局長）より「人となること」と題して拝聴しました。百％善人も百％悪人もいない、人間は善と悪を持っている。人として生かされ生きてゆく。多くの人々に支えられ、心で歌を伝え穏やかに刑場にて命を終えたお話しでした。

保護司会連合会・協力雇用主会・各地区会員の方達にも御参席いただきました。



秋田県BBS連盟

★第六十六回社会を明るくする運動月間

七月一日、秋田駅東西連絡自由通路で秋田地区保護司会が中心となり広報活動。社明運動広報資料の配布を行った。

★秋田矯正展

七月三日、秋田刑務所で開催。秋学生会員が多数参加。

★第五十七回BBS会員中央研修会

九月二十四、二十五日、東京の国立オリンピック記念青少年センターで開催され学生会員が参加。

★第四十九回秋田県更生保護大会

十一月十六日、秋田市文化会館で開催され、中島駿秋田地区会長が秋田保護観察所長感謝状を受彰。また、会長が大会宣言読み上げを行った。

★「ハングルーズ」青年教室の通年開催

秋田地区BBS会が中心となり、障がいのある青少年と地域行事やレクリエーションなどの余暇活動を楽しむ交流を通年で行っている。十月は大学においてハロウィンお菓子作り、十一月は明徳地区コミュニティセンターにおいてホットケーキ作り

を行い、交流を深めた。

★天使園学習・遊びボランティア

秋田市保戸野にある児童養護施設、みその天使園にて子供たちに勉強を教える学習ボランティアや、一緒に体を動かして遊ぶ遊びボランティアを行った。

秋田保護観察所

金田勝年法務大臣 御視察

平成二十八年八月三日、能代保護区の保護司である金田勝年衆議院議員が法務大臣に就任され、九月七日、全国で最初の視察地として秋田市を訪れました。

当日は、秋田空港に到着後、最初に秋田保護観察所を視察し、所長室において、小玉所長から秋田県内の更生保護の概況説明を行いました。

その後、場所を移動し、秋田キャッスルホテルにおいて、県内の更生保護団体関係者との懇談会が行われました。

懇談会には、県保護司会連合会宮原会長をはじめ、県更生保護援助協会小畑理事長、秋田至仁会平澤理事長など、県内の更生保護団体の代表者等、総勢十七名が出席し、意見交換がなされました。金田大臣からは、県内の更生保護団体関係者に対し、感謝と激励の言葉がありました。

なお、懇談会終了後、金田大臣は、

秋田地方検察庁や秋田刑務所などの法務省機関を視察されました。



保護司・更生保護女性会員・BBS会員連携強化研修

十一月二十六日、にぎわい交流館「AU」において、保護司九名、更生保護女性会員九名、BBS会員七名参加し、研修は開催されました。平成二十六年三月に決定された「更生保護ボランティアの協働に関する三者宣言」を踏まえ、それぞれの団体が相互に理解を深めるとともに、相互連携の在り方について検討・協議することを目的としています。本研修は初回でもあり、主に秋田市内の保護司・更生保護女性会員・BBS会員に限定し行い、各団体の現況説明として、平成二十八年度の主な事業報告の後、具体的に連携できる意見を出し合いました。

更生保護女性会やBBS会は更生

保護サポートセンターの見学と会議等での活用、そして、保護司活動インターンシップ、社会貢献活動への参加が意見として出されました。また、各団体の活動内容を今回の研修で初めて知ったという参加者もあり、今後も情報交換の場が必要との共通認識を確認しました。

“社会を明るくする運動” 作文コンテスト

第六十六回“社会を明るくする運動”作文コンテストについて、秋田県各地区からの応募者は、小学生の部一三二名、中学生の部七九〇名、合計九二二名で過去最多でした。審査の結果、秋田県推進委員会優秀賞は、小学生の部三名、中学生の部三名で合計六名が選ばれました。

優秀賞六名の作文は全国のコンテストに推薦され、審査の結果、中学生の部で東成瀬中学校の中村真実さんの「誰かがいるから」が日本BBS連盟会長賞受賞となりました。各学校の応募の皆様、御指導いただきました先生方、御父兄の皆様そして学校連携の保護司の皆様、御協力ありがとうございました。

第六十六回 “社会を明るくする運動” ★作文コンテスト入賞者

*中央推進委員会

日本BBS連盟会長賞

東成瀬村立東成瀬中学校一年

中村 真実

*秋田県推進委員会 優秀賞

▽小学生の部

秋田市立御所野小学校六年

守山 響

「地域のためなら」

鹿角市立末広小学校六年

米沢 美咲

「家族とのきずなが

明るい未来をつくる」

湯沢市立三梨小学校六年

麻生 莉来

「やさしい心」

▽中学生の部

潟上市立天王南中学校二年

笹渕 愛未

「向き合って」

大仙市立西仙北中学校三年

佐藤 亜美

「地域との交流を通して」

東成瀬村立東成瀬中学校一年

中村 真実

「誰かがいるから」

更生保護大会

平成28年11月16日(水)
秋田市文化会館大ホール

去る平成二十八年十一月十六日(水)、秋田市文化会館大ホールにて、東北地方更生保護委員会委員長ほか多数の来賓の御臨席の下、保護司をはじめとする県下更生保護関係者約八五〇人の参加を得て、第四十九回秋田県更生保護大会が厳粛かつ盛大に開催されました。

藤井慶昭秋田県保護司会連合会副会長の開催のことばには始まり、続いて「社会を明るくする運動」秋田県推進委員会作文コンテストの優秀賞の守山響さん(秋田市立御所野小六年)笹渕愛未さん(潟上市立天王南中二年)が作文を朗読しました。

次に、秋田市大森山動物園園長小松守氏が「つながりの中に生きる」と題しまして御講演いただきました。

その後、顕彰式典に移り、県下の更生保護事業に御功績のあった方々の顕彰を行うとともに今後ますますの更生保護の発展を祈念し、大会は盛会裏に終了しました。

顕彰

○叙勲・褒章(更生保護功労・功績)

・瑞宝双光章

二名

・藍綬褒章

二名

○法務大臣表彰

十四名



作文朗読



藤井慶昭県連副会長の
開会宣言

○法務大臣感謝状

二団体

○更生保護法人表彰
(更生保護法人役職員)

二名

その他

○保護司

百五十名

○内助功労者

二十五名

○更生保護女性会員

百四十名

○BBS会員

一名

○民間協力者

二団体

○「社会を明るくする運動」作文
コンテスト優秀賞入賞者

六名

以上の方々にそれぞれ表彰状、感謝状が授与されました。これに對して受賞者を代表して秋田地区保護司会の大藪省三保護司から謝辞がありました。

平尾博志東北地方更生保護委員



宮原会長の式辞



小松守氏の講演



会委員長、佐竹敬久秋田県知事、窪木稔秋田地方・家庭裁判所長及び畑野隆二秋田地方検察庁検事正より祝辞がありました。
続いて、大会宣言文を菅原大秋

お祝いのメッセージ

第四十九回秋田県更生保護大会が本日盛大に開催されますこと、誠にめでたうございます。

また、本日、表彰の栄に浴された皆様方には、長年にわたり、罪を犯した者や非行のある少年の立ち直りのため、昼夜を分かたず献身的に更生保護の諸活動に御尽力いただいていることに対し、心から敬意と謝意を表します。

さて、わが国では、二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、国民が安全で安心して暮らせる「世界一安全な国、日本」の実現を目指し、再犯防止に向けた対策を強力に推進しております。

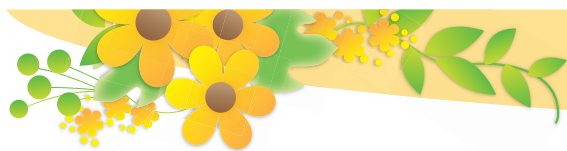
しかし、再犯の防止は、地域社会の実情に通じ、民間の立場から更生保護に携わっておられる保護司や更生保護施設、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主の皆様方の存在なくしては語ることはできません。

私も保護司の一人として名を連ねさせて頂いておりますが、本日お集まりの皆様のお力に、あらためて心から感謝と期待を申し上げます。おかげ様で、去る八月からは、皆様により近い法務大臣の仕事を務めさせて頂いており、今後とも、皆様方の活動をより一層サポートできるように法務省全体としても努めてまいります。

本日御参集の皆様方が、今後も御健康に留意され、ますます御活躍されますことをお祈り申し上げます。お祝いの言葉と致します。

法務大臣 衆議院議員

金田 勝年



第49回 秋田県



小畑理事長から表彰状の贈呈



法務大臣表彰の伝達

田県BBS連盟会長が読み上げ満場一致で採択され、最後に高橋淑江秋田県更生保護女性連盟副会長のことにより第四十九回秋田県更生保護大会の全日程を終了しました。

なお、本大会の準備・運営は秋田地区保護司会・秋田地区更生保護女性の会の御協力がありましたことを付け加えておきます。

(文責 新野)



大歯省三保護司からの謝辞



秋田県知事感謝状の贈呈



太田会長から表彰状の贈呈



畑野検事正の祝辞



作文コンテスト入賞者6名への記念盾の贈呈



佐竹敬久秋田県知事の祝辞

第50回
秋田県更生保護
記念大会

平成29年
11月10日(金)
秋田市文化会館(大ホール)
にて開催されます



法務大臣表彰の方々



高橋淑江秋田県更生保護女性連盟副会長の閉会のことば

栄誉に輝く

叙勲・褒章

秋の叙勲・褒章

(平成二十八年十一月三日)
平成二十八年年度秋の叙勲及び褒章を受けられました管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。
永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様は心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。
(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



古 仲 宗 賢
(男鹿地区保護司)

藍綬褒章

(更生保護功績)



加 藤 忠 輔
(秋田地区保護司)

更生保護以外

瑞宝双光章

(警察功労)

初瀬

武博 (本荘地区保護司)

叙位

正六位(平成二十八年七月十九日付)
齊藤 威雄 (元大館地区保護司)

保護司の異動

任期満了(平成28年12月31日付け)

次の方々が保護司を退任されました。長年の御尽力に対し感謝を申し上げますとともに、今後の御健勝を祈念します。
(敬称略)

持主 正 已 (秋田(東))
佐々木 弘 子 (秋田(中央))
伊藤 容一郎 (潟上湖東)
奈良 茂 一 (潟上湖東)
小林 明 子 (大 館)
佐々木 敬 子 (北 秋 田)
原 田 幸 幸 (北 秋 田)
戸 館 忠 忠 (鹿 角)
鷹 照 俊 一 (本 荘)
藤 原 和 夫 (大 曲)
須 田 喜 彦 (大 曲)

新任(平成29年1月1日付け)

次の方々が委嘱されました。よろしく願います。今後の御活躍に期待します。
(敬称略)

田 中 洋 子 (秋田(東))
田 中 久 美 子 (秋田(中央))
加賀谷 博 幸 (秋田(中央))
木 村 庵 (潟上湖東)
沢 井 仁 (潟上湖東)
菅 原 正 年 (大 館)

松 田 誠 行 (大 館)
奥 山 一 英 (北 秋 田)
栗 谷 大 三 (北 秋 田)
大 高 清 子 (北 秋 田)
佐 藤 要 憲 (北 秋 田)
福 岡 重 憲 (北 秋 田)
戸 館 康 博 (鹿 角)
佐々木 正 人 (本 荘)
佐 藤 康 次 (横 手)
小 松 田 泰 隆 (横 手)
佐々木 隆 隆 (横 手)
高 橋 健 吾 (横 手)
大 関 衛 伸 (大 曲)
高 橋 正 伸 (大 曲)



おくやみ

夏井 義光 (男鹿)
平成28年10月12日 享年73歳
舩屋 一 (元秋田県保護司会連合会長)
平成28年10月22日 享年84歳
佐藤 道機 (元秋田県保護司会連合会会長)
平成28年12月8日 享年92歳
茂木 光夫 (角館)
平成28年12月12日 享年71歳

編集委員

櫻田 元宏 (編集委員長)
加賀谷文秋 新野 建臣
北林 暢子 石黒かほる
伊藤 妙子 本平 利幸
高橋 毅 菊地 皆美

編集後記

明けましておめでとございます。丁酉平年皇紀二六七七年佛紀二五八三年の年です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年十一月の満月は何十年振り地球からの距離が最も近くに見えるとの報道で仰いでみると確かに大きく見えました。この時節、霜月ともなると、一層空気がひんやりし、どことなく気持しくなるものです。時間の間に一際澄んだ夜空から降ってくる星を待つような霜月祭、又火の温もりを求める鍛冶師や鋳物師の方たちの輪祭りを思い浮かべます。卯の刻朝の五時から七時に神が降りてくる。金属の神、金山彦、金山彦、金屋子神、稲荷神。これらは霜月祭りの星の神々と同じ神だつたのかも。流れ星に見立てたのか、空に輝ける星々が一瞬にして消えてゆく。早朝のほんの刹那に星を手にするかのような祭り。霜月の朝の不思議が絵画のように彩られます。秋は金の季節、金気の神とでもいい、その昔誰かが集い祀っていた神の在りかです。『庚申』庚申塚、庚申講等見かけます。俗に庚申とは庚申待ち、宵庚申、庚申祭などの総称で、曆上では十二支の「かのえさる」の日。陰陽五行で庚は金の兄、金の陽のことで、庚の申の日とは「金のエネルギーの強い申の日」となります。金は大地の下の鉱物の事で、大地の下にあるものの力が蠢く日、又、申も金の性で陽の干支で庚という金の陽性と申の陽性が二つ重なる事によって、金気が天地に充滿している状態と考えます。金気が充滿すると天地が冷え、我々の世界を強い冷気が漂うため、人の心もどこか冷淡、冷酷になり易いとされたように、人の心が離れないように、より深いコミュニケーションが必要というところに至る真夜中の人々が、互いに地域のことに、親族のことに、農作物のことに話を日が設けられたようです。 櫻田 元宏